

GLOBAL2013 学会参加報告書

東北大学大学院 工学研究科 量子エネルギー工学専攻

伊藤 辰也

成果

アメリカ、ソルトレイクシティで開催された GLOBAL2013 に参加し、「Study on Separation of Platinum Group Metals from High Level Liquid Waste Using Macroporous (MOTDGA-TOA)/SiO₂-P Silica-based Adsorbent」というタイトルで口頭発表を行い、国際会議での発表経験を得ることができた。また、その発表について専門家と討論を行い、自分の研究をより良いものとするための情報を得ることができた。さらに、高レベル放射性廃液の処理処分に関わる国内外の最新の研究成果を調査し、高レベル放射性廃液処理の専門家と交流を図ることで自身の研究を発展させるための有用な情報を得ることができた。

感想

今回の学会は初めての海外発表、初めての英語での口頭発表ということで非常に緊張していた。それでも発表自体は練習の甲斐があり難なく終えることができた。しかし、質疑応答において英語で答えきれない部分があり、自分の英語力の未熟さを感じた。また、今回改めてネイティブとの会話を体験したが、日常会話の範囲においても聞き取れない部分が多々あり、知識として知っている英語と実際に使われている英語とのギャップを痛感した。今後、しっかりと会話ができるような英語の勉強をしなければならないと感じた。

これまで直接話を聞くことができなかった専門家と交流を持つことができ、大変嬉しく感じた。また、自分の研究を発展させる上で有用な情報や知りたかった情報を得ることができ、非常に有意義だった。学生とも交流を持ち研究に対する意識の高さに刺激を受け、自分の研究のモチベーションアップにつながった。今回の学会で得られたところも踏まえつつ、今後の研究活動に努めていきたいと思う。